

金沢以東の並行在来線開業に向けた対策について

○並行在来線とは
→優等列車の利用客が新幹線に転移する線区のこと

整備新幹線 新規着工の5条件

- ①安定的な財源見通しの確保
- ②収支採算性
- ③投資効果
- ④営業主体としてのJRの同意
- ⑤並行在来線の経営分離に
ついての沿線自治体の同意

整備新幹線の整備に関する基本方針より

認可・着工



- 金沢以東の区間は、平成17年に石川県及び沿線市町が経営分離に同意
- 金沢以西の区間は、平成24年に石川県及び沿線市町が経営分離に同意

◆金沢以東区間で講じた主な対策

1 設備投資に関する事項

- ①車両は、5編成全てを2両ユニットの新型車両(521系車両)とし、うち3編成は、数年間走行した車両を新車価格の1/3程度の低廉な価格で取得・・・約13億円
 - ②線路等の鉄道資産は、不要な資産を整理し、低廉な価格で取得・・・約20億円
なお、JR西日本は、経営分離前に必要な修繕を実施。(約2億円)
 - ③敦賀延伸時に取得予定であった金沢駅の駅舎を取得費用の平準化の観点から、先行して取得・・・約23億円
- ①～③に加えて、JR金沢支社ビルの取得や券売機、お客さまカウンターの整備等に対し、県は合計約62億円を助成

2 運営に関する事項

2-(1) 組織要員計画

- ・開業時の配置要員 75人(うちJR西日本出向者51人)
→開業から概ね2年間は、JR西日本の指令システムを利用し、富山県会社が石川、新潟エリアも含め一体的に運行管理を実施(暫定指令)
- ・現在(新指令システム稼働後)の配置要員 99人(うちJR西日本出向者70人)
- ・JR西日本からの出向者の人件費の約4割をJR西日本が負担(10年間で約16億円)

2-(2) 運行計画

- ①開業前の普通列車の運行本数の確保を基本に、通学・通勤に配慮したダイヤ編成や、金沢駅発の最終列車の発車時間の繰り下げを実施
→普通列車運行本数(開業前)110本 →(開業後)112本
→金沢駅からの最終列車の発車時間 七尾方面(開業前)22:41→(開業後)23:07、富山方面(開業前)22:48→(開業後)23:01にそれぞれ繰り下げ
- ②新幹線や特急列車との乗り継ぎ利便性の確保に努める
→始発・最終のかがやきに接続する列車を設定
- ③七尾線特急列車の存続
→JR西日本が金沢発着のシャトル特急(5往復/日)及び関西方面からの直通特急(1往復/日)を運行
- ④JR西日本が運行する七尾線の列車は、引き続き、津幡・金沢間に直通乗り入れを実施
- ⑤あいの風とやま鉄道と金沢駅ー富山駅間の相互直通乗り入れを実施



3 経営スキームに関する事項

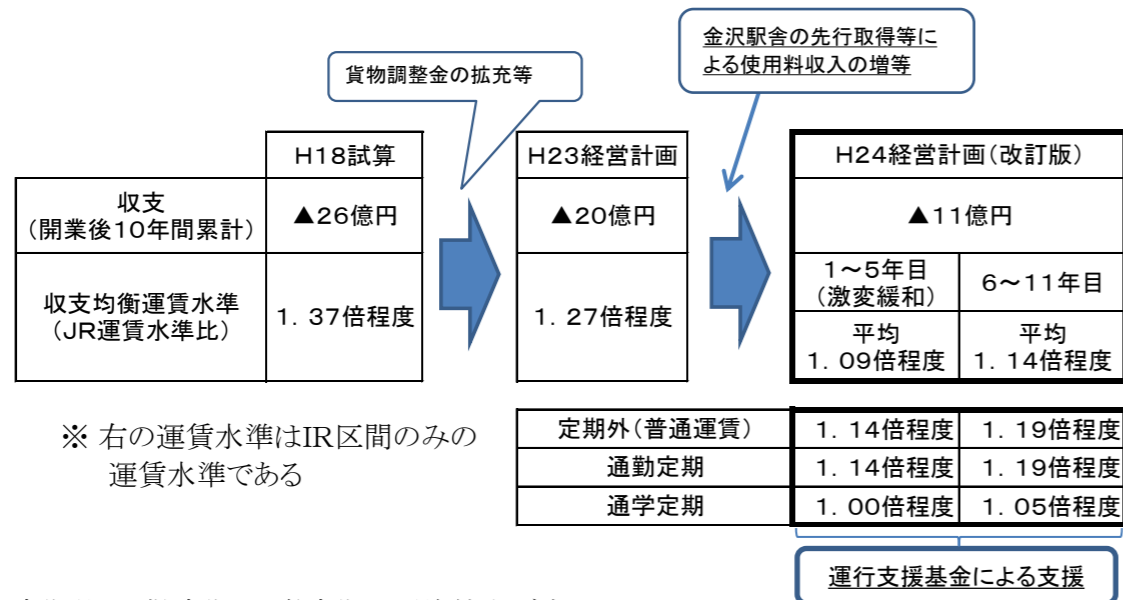
・IRいしかわ鉄道の経営を関係機関が一丸となって支える仕組みを構築

- ①資本金 総額 20億600万円
出資 県14億円、市町4億円、民間2億600万円
- ②運行支援基金
 - ・総額 30億円程度
 - ・使途 乗継割引支援 13億円程度
運賃値上げ抑制 3億円程度
開業後投資・災害復旧等 14億円程度
 - ・負担 県 15億円
市町15億円
(金沢市 9.4億円、津幡町 2.9億円、その他乗継割引関係12市町 2.7億円)

→ 基金の額30億円は、北陸新幹線敦賀開業の3年前倒し(H37→34)が決まる前の平成25年3月に策定した経営計画時のものであり、金沢以西開業前までの11年間の需要に対応

4 収支及び運賃水準に関する事項

- ・利用者の負担が過度に増加しないよう配慮しつつ、会社経営の健全性も考慮して、現行運賃と比較して、運賃水準を設定
- ・JRとの交渉や運行支援基金の活用により先行事例と比較して最も低い水準



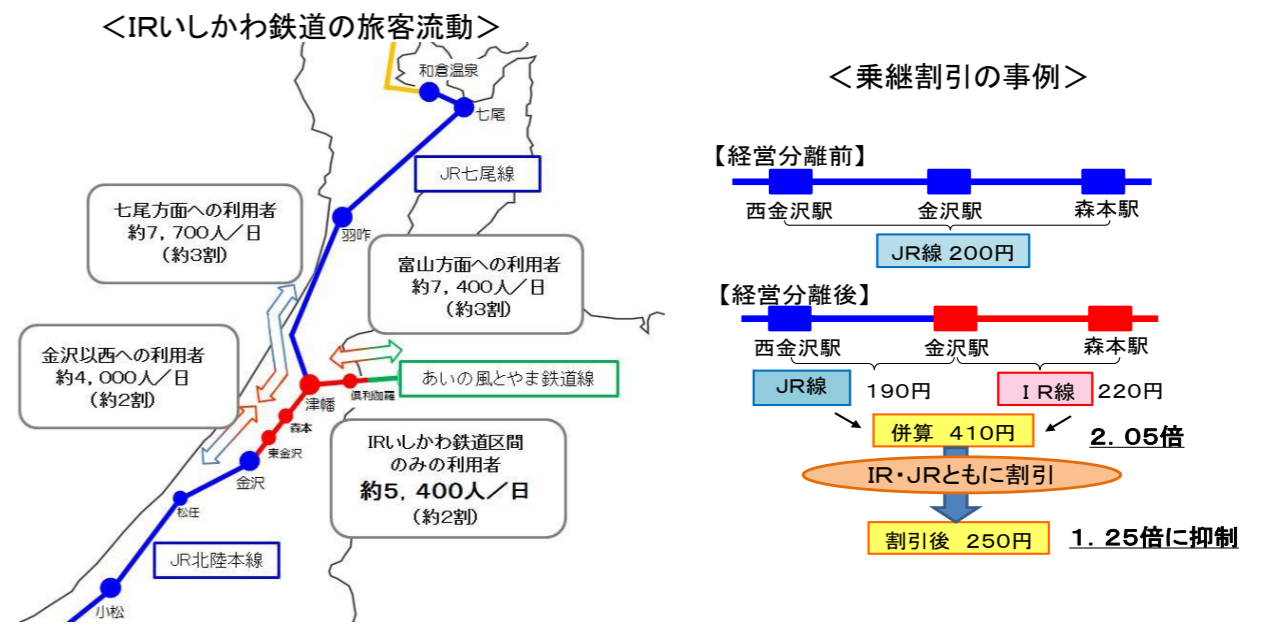
- 定期外・通勤定期・通学定期の平均値上げ率
- 先行事例
青い森鉄道:1.34倍、IGRいわて銀河鉄道:1.71倍、しなの鉄道:1.45倍、肥薩おれんじ鉄道:1.28倍
- JR三島会社(JR本州三社比)、JR北海道:1.16倍、JR四国:1.12倍、JR九州:1.13倍

乗継割引制度の導入について

・IRいしかわ鉄道が運行する区間の1日あたり利用者の延べ約25,000人のうち他路線との乗継利用者が約8割(H24調査)

⇒経営分離後に割高な初乗り運賃が2重にかかることによる利用者の負担軽減を図るため、JR西日本やあいの風とやま鉄道と協力し乗継割引制度を導入

→ IRの乗継割引の財源には県と市が拠出した運行支援基金を活用



5 利活用促進に関する事項

・平成26年4月に県、市町、経済団体、IR等により構成される「IRいしかわ鉄道利用促進協議会」において「IRいしかわ鉄道利活用促進アクションプラン」を策定し、IRいしかわ鉄道の利便性の向上と利活用促進に取り組む

<主な取り組み>

- ①お客さまカウンターの設置 (定期券、企画きっぷの販売、運転状況案内、沿線情報の提供)
- ②パークアンドライドの推進 (IRと沿線市町(金沢市・津幡町)が駅周辺に駐車場を整備)
- ③企画きっぷの販売 (IR・あいの風1日フリーきっぷ、金沢駅連絡きっぷ等)
- ④臨時列車の運行 (百万石まつり、モンレージャズフェスティバル等にあわせ運行)
- ⑤サポーター制度 (いしてつ愛あーるクラブ)
- ⑥駅を活用したイベント等の開催
(地元団体により駅で野菜市や写真・絵画等の展示イベント等を開催)